

松山市で「次世代移動通信セミナー」を開催

《5Gを活用した地域課題解決に向けた事業展開を中心に紹介》

四国総合通信局(局長:川村 一郎)並びに一般財団法人地域情報化推進協会(理事長:利根川 一)は、令和元年10月29日(火)、四国情報通信懇談会(会長:泉 雅文 四国旅客鉄道株式会社会長)と共催で愛媛県松山市にて「次世代移動通信セミナー」を開催し、ICT関連企業、地方公共団体などから100名が参加しました。

本セミナーは、第5世代移動通信システム(5G)の特徴について一層の理解を深めるとともに、総務省が要望している5G関連予算やサービス開始を予定している携帯電話事業各社の今後の事業展開について紹介いただくことで、四国における地域活性化や雇用創出などの課題解決、魅力・活力を高めるための利活用手法の検討を進めていただくために開催したものです。

基調講演【5G利活用で地域課題解決を】

総務省 情報流通行政局地域通信振興課 課長補佐 岡 元紀

岡講師からは、地域での5G早期実現に向けた総務省の取組について紹介しました。少子高齢化と労働力人口減少への対策としてキーとなるのはICTによる地域課題解決であり、その中でも5G利活用は不可欠とし、そのためには、様々な立ち位置で地域社会のパートナーと手を組んで、新しいビジネスやサービスを構築し、持続可能な社会経済の発展へつなげることが重要であるとの説明がありました。



四国総合通信局長の
主催者あいさつ

講演【5G 時代に向けたドコモの取り組み ～さまざまなパートナーさまと創る未来～】

株式会社NTTドコモ 法人ビジネス本部5G・IoTソリューション推進室 ソリューション技術支援担当部長 奥島 啓介 氏

奥島講師からは、5Gに関する基礎知識とともに、実証事例として、5Gの特性を生かした「給電ドローン4K映像伝送」や高精細映像伝送による遠隔操作や、歴史教育に関する実証実験などが紹介されました。地域課題の解決やモバイルデバイスなどを通じた新体感サービスの提供に向けた開発を進めるとともに、パートナー企業等に5G技術検証環境を提供するための拠点を拡大するなどの取組についても紹介されました。



総務省講師の基調講演

講演【KDDIの5G・IoTビジネス戦略と今後の取組のご紹介 ～いよいよ具体化してきた5G・IoTソリューションの紹介～】

KDDI株式会社 ソリューション事業企画本部5G・IoTサービス企画部 企画3グループリーダー 武内 康知 氏

武内講師からは、5GとAIを活用してスタートアップを支援するビジネス開発拠点の設置など、5Gのインフラとしての普及に向けた取組について紹介されました。5Gの登場によりビジネスモデルが大きく変わる可能性があり、売り切りモデルの「フロー」や現在普及している定額制サービス「サブスクリプションモデル」から、データと価値提供が循環する「リカーリングモデル」の実現に近づいているとのコメントがありました。

講演【5G 社会に向けたソフトバンクの取組みと今後の戦略】

ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニットモバイル技術統括エリアネットワーク本部四国ネットワーク技術部 部長 藤田 創 氏

藤田講師からは、5G・IoTの普及や不感地域対策として、成層圏に飛行させた無人機体基地局による広域ネットワークカバレッジ計画や5Gを使ったプロ野球の「マルチアングルVR観戦実証実験」などが紹介されました。AIと組み合わせることで、鉄塔などの公共インフラの健全性監視や自動運転によるフードデリバリーも可能になることから、今後も様々な実証を重ねていくことの説明がありました。



セミナー会場の様子

今後も四国総合通信局では、地域課題の解決や地域産業の活性化に役立つ5Gの利活用の推進に取り組んでまいります。